

平成25年度第3回宇都宮市河内自治会議録

1 日時 平成25年6月26日(水) 午後1時30分～午後4時30分

2 場所 河内地域自治センター 第1・2会議室

3 出席者

【委員】 杉原弘修委員(会長), 川上幸子委員(副会長), 大谷津健敏委員, 小野章委員,  
計18名 加藤幸雄委員, 君島京子委員, 小森光晴委員, 櫻井基一郎委員, 関口啓子委員,  
多田出芳子委員, 永井寛委員, 中澤敏美委員, 中村房夫委員, 船橋あけみ委員,  
宗像茂委員, 森由利子委員, 山田ちい子委員, 若林知委員,

【事務局】 地域まちづくり担当参事, 河内地域自治センター所長, 地域自治制度担当副参  
計9名 事, 地域経営課長, 他5名

4 会議の公開・非公開 公開

5 傍聴者数 1名

6 会議経過

(1) 開会

・本日の会議の出席者数は18名, 山田祐子委員・我妻勝次委員が欠席。委員数の過半数に達しているため, 会議が成立することを事務局から報告。

(2) 協議事項

①合併市町村基本計画の執行状況について

答申書(素案)の協議

・資料1の答申書(素案)と資料2の意見票に基づき, 協議した。

発言者	発言内容
会長	前半は, 合併市町村基本計画の執行状況についての全体協議を行う。後半は, 地域まちづくりに関する施策の提案についてグループ協議を行う。事務局から答申書(素案)について説明をお願いする。
事務局	資料1を説明
会長	道路施設改良事業についてだが, 工事休止中の市道20227号線について, 複数の委員から工事継続を要望する意見が出たので, 意見に加えた方がいいと思うが, どうか。
委員	市道20227号線は, 住宅密集地で道路が狭い。粘り強く用地買収に向け, 交渉を続けた方がいい。
委員	車は1台しか通れず狭いし不便。道路としての機能は同じ広さで抜ける方がいい。私も粘り強く用地買収に向け, 交渉を続けた方がいいと考える。
会長	そのことを意見に加えていきたい。公共下水道整備事業についての意見はあるか。
委員	24年度の答申書の「住環境の創出」から25年度の意見(案)の「生活環境の確保」に変更したが, 「住環境の創出」は, 夢と希望がある。「生活環境の確保」は, 現実的な言葉になっている。 変更した理由は何か。また, 通常どちらの表現が適当なのか。
事務局	下水道事業の直接の目的は「生活環境の整備」である。24年度の答申書の「住環境の創出」の意味は「生活環境を確保されることによってその先の快適な住環境の創出につながっていくこと」を表現して使用した。

	今回の意見としては、「生活環境の確保」と本来の目的に沿った表現に変更した。
会 長	「住環境の創出」の中に整備の目的性を明確に表現されているかどうかだ。整備の目的は何か。「住環境の創出」は、委員が下水道整備の目的と考えるなら、25年度の答申書の中に盛り込めるが、意見はあるか。
委 員	「下水道整備は」と主語になっているが、「快適的な生活環境」を確保するうえで絞っても良い。24年度の答申書で「住環境の創出」とは、下水道以外にも下水道を通して我々の生活の中に、建物や交通安全等を全般的に含めて作り上げることで「創出」という言葉を加えたと思う。目的を議論するよりも、現実的に河内の下水道事業がこの言葉で表現されても良い。結論的には、25年度の答申書は「生活環境の確保」に変更しても良い。
委 員	「生活環境の確保」は「創出」という言葉よりも現実的なことだ。24年度の答申書で「接続していない住民に対して啓発活動を行ってください」とあるが、文言は25年度も同じ内容だが発展性がない。一部接続していない世帯がある。接続率を高めていくには、年を追うごとに厳しく指導し、接続率を上げていく形にしたらどうか。
会 長	25年度は24年度と同様の意見ではなく、接続率を強調する意見ではどうか。という意見をもらった。
委 員	「創出」という言葉だと広くなり過ぎると感じる。「快適な生活環境の確保」で良い。加入率を啓発していく文面のほうが良い。
委 員	「接続していない地域住民に対しては、接続に向けた広報や啓発活動を行ってください」とあるが、住民は公共下水道整備を強く望んでいるならば、行政側から地域住民に対して指導する意味になる。住民からの強い意志を発していない。住民が強い要望を求める文言にしたらどうか。
会 長	25年度の答申書（案）の公共下水道の整備は、何のために整備するのか。地域の生活環境の確保、自然環境の保護、住民が望んでいるから整備するとは言い難い。むしろ地域全体の生活環境の確保が大切である。接続を不用だと思いう住民に対し、下水道整備をすることで生活環境が改善していることを説得してみる意見だと理解した。
事務局	接続率の話だが、前年度の会議の中でも話題となった。23年度の答申書の中でも「公共下水道に接続可能な地域住民に対して接続に向けた広報活動が必要です」とある。24年度の答申書は「公共下水道の整備は、接続に向けた広報や啓発活動を行ってください」とあるが、未接続者に働きかけが足りないのでは、との意見で表現を変更した。その流れを踏まえて、今年度も同様の表現にした。接続していない要因としては、浄化槽をすでに設置している住民は、費用がかかるので接続をすぐにするのは難しいというのが実情である。市側はあくまでも接続して頂くよう、今後も啓発活動を行なっていくと聞いている。
委 員	自治会でも接続するよう呼びかけている。接続したいが費用がかかる。なかには、今後のためにも接続したい人も出てきた。河内地域全体で接続に向けた周知をしないと実現しないのではないか。
委 員	接続に向けた地域住民への広報や啓発は未接続の住民に対して、直接行なっているのか。「未接続者との話し合いに踏み込んでいくのが必要ではないか」という文言に変更してはどうか。

委員	全体の接続率は、何パーセントなのか。自治会別・路線別にデータがあるなら、未接続者を集中的に広報活動ができるのではないかな。
会長	行政側は接続率を把握しているので、接続の比率をもとに啓発活動、広報活動が行われているのではないかな。もっと前向きに接続するよう自治会議では、意見を出していくがよろしいかな。文言はこちらで検討していく。
会長	地域自治拠点整備事業についての意見の前に副会長の方から補足がある。
副会長	地域自治拠点整備事業と中央公民館改修整備事業については、合築により一体的な整備をするという方向で、まちづくり協議会内に結成された河内自治拠点建設促進委員会では、地域の意見要望の集約に努めている。委員会の経過等は、河内地区まちづくり情報紙に掲載してきた。今後も経過等を地域情報紙に掲載していく。宇都宮市の広報紙4月号に自治センター・生涯学習センターの合築の予算に3400万円を計上したと掲載されている。
委員	施設利用者の駐車場の問題は考えているのかな。
副会長	駐車場は300台確保できる。敷地内の半分は建物で、現在の運動場の半分を今後の運動場にしたいと要望している。
会長	施設が整備される場合、駐車場などが施設建設にあたって問題になっている。今後、河内自治拠点建設促進委員会の会議の結果を自治会議で必要に応じて報告する。
会長	小・中学校校舎整備事業について、素案に対しての意見はあるかな。
委員	(意見なし)
会長	小・中学校プール整備事業について、素案に対しての意見はあるかな。
委員	(意見なし)
会長	中央公民館改修整備事業について、素案に対しての意見はあるかな。
委員	(意見なし)
会長	岡本駅西土地区画整理事業について、素案に対しての意見はあるかな。
委員	整備終了は平成35年度と10年後であり、1年でも早く完成して欲しい。
委員	早急に進めて欲しい。
会長	地権者の要望は、行政も承知しているだろうが、どのような意見で答申書に盛り込めば良いかな。「情報提供がなされることを望みます」とは、切実な要求である。情報の提供を踏まえたうえで、「早期に計画的な整備を進めるとともに、状況に応じて、整備区域外の市民に対しても情報提供がなされる」と順序立てをして要望していきたい。
委員	「優先的な事業を勘案しながら」という文言にしてはどうか。自治会の意見などを踏まえて優先順位を決める。その中でも特殊な事業は、優先的に整備して欲しいとの文言はどうか。
事務局	岡本駅西土地区画整理事業について、合併前は約3億円程度投資していたが、合併後は1年間で約10億円と莫大な投資をしている。市側は財政的に厳しい状況であり、大規模事業は国庫補助を活用して整備をしている。意見については、会長と協議をする。
会長	行政側が予算措置をするためには、自治会議から要望することが必要である。
会長	岡本駅前周辺整備事業について、素案に対しての意見はあるかな。

委員	(意見なし)
会長	農村公園等整備事業について、素案に対しての意見はあるか。
委員	(意見なし)
会長	農道整備事業について、素案に対しての意見はあるか。
委員	(意見なし)
会長	本日の会議での意見をもとに、次回の会議で「答申書(案)」を示したい。 以上で「合併市町村基本計画の執行状況について」を終了する。

## ②地域まちづくりに関する施策の提案について

### 現状の把握(グループ協議)

発言者	発言内容
会長	「地域まちづくりに関する施策の提案」について、グループ協議を行う。事務局から説明をお願いします。
事務局	資料3・4・5を説明
会長	資料3・4・5について事務局側から説明があったが、他に意見はあるか。
委員	(意見なし)
会長	それでは、現状の把握についてグループ協議をする。各グループにサポート役に事務局職員が入り、私も各グループを回るので、質問等があれば聞いていただきたい。

「地域まちづくりに関する施策の提案」についてのグループ協議を実施

会長	A・B・Cの順で発表をお願いします。
委員	<p>Aグループの発表をする。</p> <p>福祉の強みとしては、「福祉施設の充実」「人が元気だ」の2つ。福祉の弱みとしては、「地域の希薄化」「入所待ちの高齢者が多い」「障がい・母子・介護の対策不足」「高齢者に対する対策が弱い」の4つ。健康の強みとしては、「健康への意識が高い」「病院が多い」「情報が多い」の3つ。健康の弱みとしては、「食育に関する意識が高い」「健診率の低下」「健康づくりのサークルが少ない」の3つ。安全・安心の強みとしては、「防犯意識の向上」「防犯意識が高い」「良い環境」の3つ。安全・安心の弱みとしては、「交通が不便」「周囲に無関心」「防災意識の低下」「交通ルールの意識の低下」の4つ。</p> <p>福祉の強みについて説明する。</p> <p>「福祉施設の充実」は、河内総合福祉センターがあり、バスが巡回している。介護施設等では、自宅までの送迎で便利だ。老人福祉の施策が多数ある。</p> <p>「人が元気だ」は、障がいのある方が前向きである。介護予防のための自主グループがある。地域で見守りする福祉協力員が165名いる。老人単独世帯が少ない。老人会の活動が活発である。</p> <p>福祉の弱みについて説明する。</p> <p>「地域の希薄化」は、地域の共助・相互扶助の機能が希薄になっている。</p> <p>「入所待ちの高齢者が多い」は、老人施設入所希望者が多い。</p> <p>「障がい・母子・介護の対策不足」は、障がい者の授産所はあるが、働く場所が少ない。母子福祉に関する施策が少ない。介護予防の意識が低い。</p>

	<p>「高齢者に対する対策が弱い」は、高齢化率がアップしている。高齢者の1人世帯・2人世帯が多い。閉じこもりから寝たきり、認知症などになることが懸念され、家族の中で孤立している。</p> <p>健康の強みについて説明する。</p> <p>「健康への意識が高い」は、年間を通じ、健康づくり活動を実施している。高齢者の場が多数ある。運動意識が高い。各自治会が一同に集まる体育祭がある。グラウンドゴルフ等のスポーツが盛んである。総合運動公園が隣接している。ウォーキングの箇所が多い。若年層から高齢者まで、料理教室に参加できる。ママパパ学級や離乳食教室を実施している。</p> <p>「病院が多い」は、集団健診の機会が多い。地区住民の健康診査に対する意識が高い。医療機関が多い。</p> <p>「情報が多い」は、河内地域自治センター・河内保健センターに健康情報の提供パネルの展示物がある。まちづくりの情報紙「かわち」に健康レシピ、健康体操が掲載されている。</p> <p>健康の弱みについて説明する。</p> <p>「食育に関する意識がない」は、健康維持の意識が低い。過剰に塩分を摂取している。もっと身近に地産食材が入手できると良い。</p> <p>「健診率の低下」は、若年層の受診率が少ない。</p> <p>「健康づくりのサークルが少ない」は、健康づくりの自主サークルが少ない。健康づくりの普及啓発の機会が限られている。ウォーキングマップが無い。</p> <p>安全・安心の強みについて説明する。</p> <p>「防犯意識の向上」「防犯意識が高い」は、青色防犯パトロールがパトロールを常時実施している。ワンワンパトロールが結成されている。犯罪が少ない地域である。</p> <p>「良い環境」は、農村地域で空気が良くのどかである。</p> <p>安全・安心の弱みについて説明する。</p> <p>「交通が不便」は、車が無いと動けない。</p> <p>「周囲に無関心」は、昼間は留守宅が多く防犯上不安である。空き家が多く、向こう三軒両隣の意識が低下している。</p> <p>「防災意識の低下」は、防火グッズの普及が少ない。防災施設に関する施設が少ない。</p> <p>「交通ルールの意識の低下」は、交通事故が多い。自転車のルールが守られていない。横断歩道以外の道路横断が多い。</p> <p>説明は以上。</p>
委員	<p>Bグループの発表をする。</p> <p>福祉の強みとしては、「近くに病院が充実している」「福祉ボランティアの活動」「高齢者が住みよい環境」「老人福祉施設がある」「家族の介護が多い」の5つ。福祉の弱みとしては、「地域のつながりが弱い」「公立保育所の不足」「自治会加入率の推進」の3つ。健康の強みとしては、「自然環境に恵まれている」「体育施設に恵まれている」「自分の健康は、自分で守る意識」「温泉・プールがある」の4つ。健康の弱みとしては、「塩分摂取量が多い」「地産地消の展開が弱い」「公共の場所がわからない」「スポーツ大会の参加が少ない」の4つ。安全・安心の強みとしては、「自然災害が少ない」「スーパー等の店が多くて便利」「学</p>

校地域協議会の充実」「事件が少なく暮らしやすい街」「住民による見守り，声かけ」の5つ。安全・安心の弱みとしては、「生活道路の未整備」「災害に対する意識が薄い」「高齢化が進んでいる」の3つ。

福祉の強みについて説明する。

「近くに病院が充実している」は，充実した医療機関が多い。

「福祉ボランティアの活動」は，余暇の増加による福祉ボランティア活動が活発である。

「高齢者が住みよい環境」は，高齢者が住みやすい環境。高齢者の包括支援センターからの支援がある。介護保険料は全国で最も安い。

「老人福祉施設がある」は，有料の老人施設がある。

「家族の介護が多い」は，民生委員・福祉協力員・自治会長による高齢者等への見守り活動をしている。

福祉の弱みについて説明する。

「地域のつながりが弱い」は，隣近所の交流が薄れてきた。少子高齢化による地域のつながりの希薄になっている。高齢化が進み，核家族が進行している。地域コミュニティの低下により活動が不足している。

「公立保育所の不足」は，保育所が減った。

「自治会加入率の推進」は，自治会加入者への支え合い，助け合いの絆が薄れてきた。自治会未加入者への支え合い，助け合いが欠如している。

健康の強みについて説明する。

「自然環境に恵まれている」は，白沢公園等の自然環境が恵まれている。緑が豊かで水・空気おいしい。自然と住宅地が適度に混じっている。農産物が豊富である。

「体育施設に恵まれている」は，河内プール利用者が多い。スポーツのまちなりの取り組みがきている。

「自分の健康は，自分で守る意識」は，自治会のハイキングクラブ・ゴルフクラブによる仲間づくりとともに健康が維持されている。健康カレンダーがある。自分の健康は，自分で守るという健康意識が向上している。

「温泉・プールがある」は，温水プールがあり，温泉入浴ができる。

健康の弱みについて説明する。

「塩分摂取量が多い」は，塩分摂取量が多い。

「地産地消の展開が弱い」は，地産地消の展開がわからない。

「公共の場所がわからない」は，公共施設の場所がわからない。

「スポーツ大会の参加が少ない」は，ハートフル・体育祭への市民参加が年々減少している。

安全・安心の強みについて説明する。

「自然災害が少ない」は，自然災害が少ない。

「スーパー等の店が多くて便利」は，スーパー等の総合店が多く便利である。

「学校地域協議会の充実」は，小学校地域協議会の安全ボランティアによる児童見守り活動や環境点検運動を実施している。

「事件が少なく暮らしやすい街」は，事件や犯罪が少なく，安心して暮らしやすいまちである。

「住民による見守り，声かけ」は，農村地帯で声かけが継続されている。

	<p>安全・安心の弱みについて説明する。</p> <p>「生活道路の未整備」は、朝夕の道路に渋滞緩和策がない。歩道や自転車道の整備が少なく不安である。</p> <p>「災害に対する意識が薄い」は、災害に対する住民の意識が欠如している。自治会単位での防災訓練がない。</p> <p>「高齢化が進んでいる」は、30～40年前造成の団地が多く、高齢化が進むと不安である。空き家等の除草が必要である。スーパーのない買物弱者の地域がある。買い物や病院への足がない。全体的にみて、高齢者に対して住みやすく、自然に恵まれている。逆に恵まれているから活動ができるし、活動ができるから福祉にも繋がる。健康にも繋がる。といった関連するものが多い気がする。</p> <p>説明は以上。</p>
委員	<p>Cグループの発表をする。</p> <p>福祉の強みとしては、「福祉施設の充実」「住民が親切」の2つ。福祉の弱みとしては、「福祉関連の人員不足」「一人暮らし世帯の増加」の2つ。健康の強みとしては、「運動公園の充実」「農産物が新鮮」の2つ。健康の弱みとしては、「下水道の普及率が悪い」「地域住民の健康意識」の2つ。安全・安心の強みとしては、「交通モラルの啓発」「防犯意識の向上」「自然災害が少ない」の3つ。安全・安心の弱みとしては、「住民の交通モラル低下」「消防団員の不足」の2つ。</p> <p>福祉の強みについて説明する。</p> <p>「福祉施設の充実」は、福祉センターの利用ができ、地域住民には有利である。保育園やデイサービスが利用可能である。</p> <p>「住民が親切」は、一人暮らしの高齢者へのふれあい訪問がある。各地区老人クラブに加入し、高齢者の生きがいつくり、友達づくりをする。</p> <p>福祉の弱みについて説明する。</p> <p>「福祉関連の人員不足」は、高齢者施設が不足している。ボランティアの育成が少ない。福祉関連に従事する人員が不足している。</p> <p>「一人暮らし世帯の増加」は、一人暮らし世帯や空き家が多い。</p> <p>健康の強みについて説明する。</p> <p>「運動公園の充実」は、運動公園が充実している。</p> <p>「農産物が新鮮」は、近くに農産物販売所があり、新鮮な野菜を買える。自然が豊かな農村地帯であり、安価で新鮮な食材が入手できる。</p> <p>健康の弱みについて説明する。</p> <p>「下水道の普及率が悪い」は、下水道の整備が遅れている。下水道の未接続者が多い。</p> <p>「地域住民の健康意識」は、高齢者健診の会場までの車の問題がある。定期健診の利用者が少ない。庭先でビニールや包装紙等のごみを焼却している。地域住民の健康意識が薄い。</p> <p>安全・安心の強みについて説明する。</p> <p>「交通モラルの啓発」は、学校単位による交通事故の現況説明や走行指導等をしている。高齢者に対して、警察での交通事故防止の出前講座を実施している。歩行者優先が厳守されている。</p>

	<p>「防犯意識の向上」は、夜間にボランティアによるパトロールで不審者対策をしている。外灯不備を通報している。学童下校時にワンワンパトロールでパトロールを実施している。外出時に、両隣に挨拶をし防犯の励行している。</p> <p>「自然災害が少ない」は、自然災害が比較的少ない。常に河川の現状を把握している。</p> <p>安全・安心の弱みについて説明する。</p> <p>「住民の交通モラル低下」は、自転車・歩行者の交通区分帯の違反や車の交通規制の違反がある。スマホを見ながら自転車走行をしている。</p> <p>「消防団員の不足」は、地域のボランティア意識の低下により、消防団員が不足している。</p> <p>説明は以上。</p>
会 長	それでは、各グループの意見について質問はあるか。
委 員	(意見なし)
会 長	各グループともに、強みと弱みの意見が出て、よくまとまっていた。本日の内容を整理し、次回会議で提示する。それをもとに「課題の抽出」について協議していただく。

(3) その他

- ・ 次回の開催日程については、平成25年7月30日(火)午後1時30分から河内地域自治センターで開催し、詳細は後日連絡。

(4) 閉会